



〔上海の街と生活の様子〕

元気な大都市上海は、現在世界2番目に豊かな国と言われる中国で、国内最大の経済都市です。常住人口は2300万人。超高層ビルと昔ながらの街並みが交じり、純アジア文化と欧風建築など他国の文化が調和する大都会です。昨年2010年には、「上海万博」が開催されました。会場面積は過去最大。240を超える参加国・地域・機関数も過去最多。延べ7000万人を超えた入場者数も史上最多でした。上海らしい、スケールの大きな国際博覧会でした。

上海の特色の一つに日本人が多いということが言えます。3ヶ月以上の長期滞在をしている日本人は6万人。出張者や旅行者も合わせると、10万人くらいの日本人が上海にいるそうです。私が派遣されている虹橋校は、上海の西側にあります。虹橋地区周辺は在上海日本総領事館もあり、日本人がたくさん居住しています。日本人向けの店やサービスも多く、街を歩いても、日本語の文字をよく見かけます。日本語で書かれた看板の飲食店に入ると、「いらっしゃいませ。」と日本語で迎われます。メニューも日本語。注文も日本語。時々、自分が海外にいるということを忘れてしまいそうなくらい、日本語にあふれています。

大盛況だった上海万博。本校児童も日本館で発表をしました。



日本人向けの店が多くあります。

〔上海の人とのつながり〕

昨年度、尖閣諸島をめぐる問題がありました。中国国内での「反日感情」が報道され、日本国内の皆様には心配をおかけしましたが、上海では、思ったほどの騒ぎになりませんでした。もちろん、2000万人を超える上海在住の中国人。中には日本のことを良く思っていない方もいるのですが、誰も彼もが日本人に対して悪いイメージを抱いているわけではないということを感じました。上海に派遣されて2年数ヶ月が過ぎ、私には中国人の知り合いや友人もできました。もちろん日本人と知り合いになる中国人はどちらかと言うと親日的なのですが、中国人の中でも、中国政府からの報道を懐疑的に見ている方もいるし、日本のことを応援している方もいるのです。タクシーに乗ったとき、私が日本人だと知ると、東日本大震災について話しかけられました。私の中国語はまだまだつたないのですが、その運転手の中国語から、日本を心配し、応援してくださっている気持ちが伝わってきました。本当に嬉しくなりました。



仲良くなったタクシーの運転手。

日本人は、中国のイメージをどのように抱いているのでしょうか。私は、2年間の上海生活の中で、速やかに親切な行動や判断をする姿、約束したことは誠実に実行しようとする姿など、魅力的な中国人の姿をたくさん見てきました。しかしある日、インターネットで日本国内のテレビ番組を見ると、中国人の悪いイメージがニュースで報道されていました。一方的な報道を残念に感じました。日本人と中国人がお互いに好印象を抱きながら、つきあっていける社会が理想だと思います。

〔上海日本人学校の様子〕

上海日本人学校虹橋校は、児童数約 1500 人という大きな学校です。1・2年生は9学級ずつ、全校で47学級あります。先ほども書きましたが、日本人が多く住む、虹橋地区に建っています。

本校の校訓は「独歩博愛」。独歩とは、自らを育み、自分らしさを発揮して世の中の役に立とうとする精神、博愛とは、自他を愛し、よりよい世の中をつくっていかうとする精神です。学校教育目標は、「自ら学び、明るく、やさしく、たくましく、国際性豊かな児童を育成する。」です。この校訓、教育目標を実現・達成するために、在上海の特性を生かしつつ、ソフト・ハードの両面の教育環境を充実・整備しています。子ども達は整った学習環境の中で、毎日の授業を受けていると感じています。

上海日本人学校の特色ある学習と言えば、全学年週1回ずつの英語活動と中国語だと思えます。英語も中国語もネイティブの講師による授業が展開されています。特に今年度は、英語活動を中心とした研究を進めています。毎朝10分間の「イングリッシュタイム」という時間を設け、担任の指導で英単語や英文の会話練習をしています。英語にも中国語にも慣れ親しんだ、国際性豊かな子ども達を育てていきたいと思えます。



児童の60台のバスを全教職員で見送る下校風景。



活発な英語活動。

〔上海日本人学校の主な行事〕

1500人の児童が在籍する上海日本人学校ですから、学校行事を行うのにも日程調整をしたり、進行を工夫したりしています。どの行事も大人数ならではのダイナミックな行事になります。また、海外にある学校、上海にある学校という特性を生かした行事をしています。



1年生を迎える会、6年生の出し物。

○1年生を迎える会

児童会や新6年生が中心となって開催します。各学年それぞれ200人以上を超える子ども達による出し物は迫力あります。1年生も大喜びです。

○修学旅行・宿泊学習

6年生は2泊3日の北京旅行。北京の観光地を回り、中国の理解を深めます。5年生は市内の野外活動施設「東方緑舟」へ出かけ、1泊の集団活動を行います。5年生も6年生も仲間との絆が深まる時間です。

○遠足・校外学習

1年生は動物園などの遠足、2年生は近隣の「長風公園」遠足や芋掘り、3年生は現地の市場見学や工場見学、4年生は清掃工場見学など、学年に応じた活動を行っています。子ども達にとって楽しい行事です。

○運動会

1500人の児童と3000人の保護者、来賓とスタッフもあわせると5000人が本校グラウンドに集い運動会を開催しています。特に各学年200人以上で行うダンス・組体操などの表現は迫力があります。



修学旅行は北京へ。

大迫力の運動会の表現。5年生のソーラン節。



○チャレンジタイム

1年生は中国影絵鑑賞，2年生はカンフー体験，3年生は京劇体験，4年生は上海雑技体験，5年生はタンユエン（中国の餅）作りと中国獅子舞鑑賞，6年生は花文字体験等，PTAが中心となって中国文化に触れる活動をしています。体験から，中国文化や伝統芸能の奥深さ，すばらしさを学んでいます。

○現地校交流

現地中国の学校と交流をします。遊びの交流や音楽の発表交流などを行っています。1年生でも手作りの名刺を手に「ウォージャオ…（私の名前は…です。）」と自己紹介をします。中国の子ども達と通じ合える，大事な活動です。

○学習発表会

日頃の学習の成果を見てもらう発表会です。1500人が，同日に一堂に会して開催とすることは難しいので，学年ごとに日を設定しています。音楽科や総合的な学習などの成果を工夫を凝らして発表します。

○持久走記録会

学年ごとに持久走に挑戦します。試走も行い，一人一人が目標タイムをもって挑みます。持久走記録会週間を設定し，目標達成を目指して毎日持久走の練習に励みます。

◎＜今年度＞がんばろう！日本キャンペーン

児童会が中心になって行っています。東日本大震災の被災地の方々に対し，上海から何かできないかと考え行動を起こしています。初めに，募金活動を行い，中国元で79,259元（日本円にして約103万円）と日本円101,045円を在上海日本総領事館を通じて被災地へ送りました。次の活動は千羽鶴を作りました。全校児童が縦割り班（1年生から6年生までが縦割りで100班を作っています。）で鶴を折りました。昼休みごとにボランティアの子ども達が鶴をつなぎあわせ，千羽鶴が10束，万羽鶴ができました。10束の千羽鶴も被災地に送ります。その次の活動として，被災地に届けるメッセージを書きました。日本から遠く離れた上海から，日本を応援し続けたいというメッセージが込められています。今後も活動は続きます。

〔おわりに〕

上海に派遣されてから2年半の活動を振り返り，まとめました。上海日本人学校の子ども達は，日頃の上海での生活の中で，また様々な教育活動を通じて，中国の良さや日本の良さに気付いたり，再認識したりしています。私自身も，この2年間で中国の良さを感じると共に，日本の良さを再発見してきました。日本も中国も私にとってとても大事な国です。日本と中国，今後つながりを深めてほしいと思います。上海日本人学校虹橋校の子ども達が，校名の通り「虹の橋」となり，両国の架け橋のような存在になってほしいと願っています。

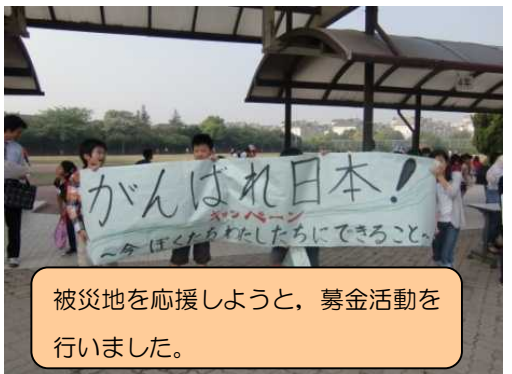
チャレンジタイム。2年生のカンフー体験。



現地校との交流。名刺を渡して，中国語で自己紹介をしました。



1年生の学習発表会。270人による学年合唱。



被災地を応援しようと，募金活動を行いました。



全校児童で1万羽以上の鶴を折り，昼休みに，千羽ずつつなげていきました。